

計画期間

2016 年度（平成 28 年度）～ 2030 年度（平成 42 年度）15 年間

削減目標

短期目標：2020 年度に基準年比 12%削減（432 千 tCO₂ 削減）
中期目標：2030 年度に基準年比 28%削減（1,009 千 tCO₂ 削減）
長期目標：2050 年度に基準年比 80%削減（2,882 千 tCO₂ 削減）

※基準年：2013 年度

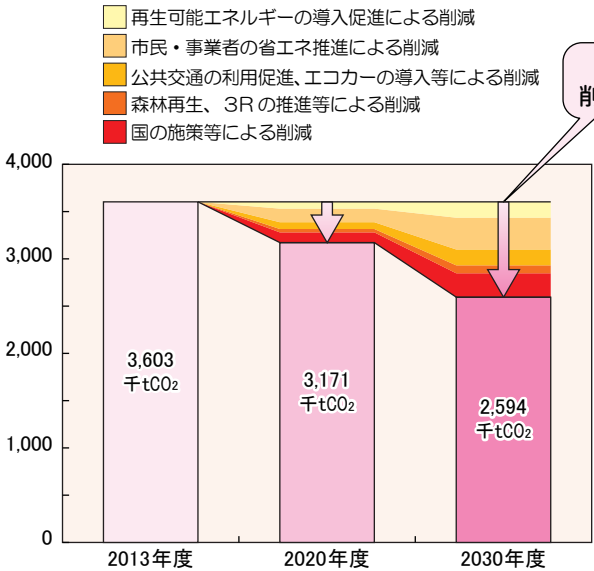


図1 短中期目標のCO₂削減量

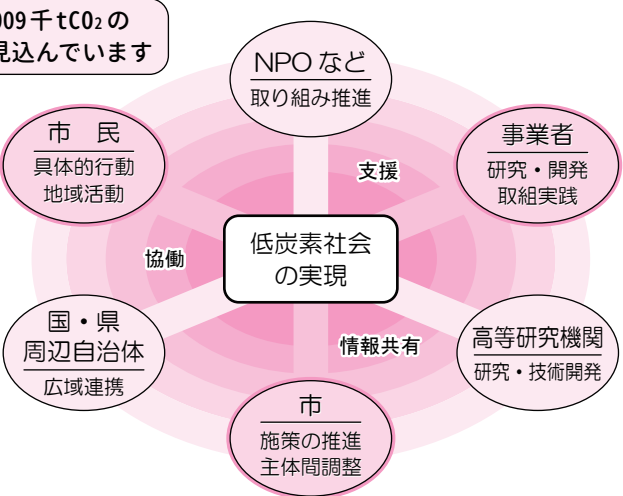


図2 環境パートナーシップ

金沢市における温室効果ガス排出量の現況

2013 年度の本市の温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）は図3のとおり3,603 千tCO₂であり、1990 年度と比べると約 25%増加しています。

2008 年9月に発生した「リーマン・ショック」の影響を受け2009 年度には大きく減少したものの、その後の景気回復及び火力発電の増加に伴い、2010 年度以降は増加傾向にあります。部門別にみると、家庭部門、業務部門が増加傾向にあります。

また、2013 年度の本市の人口一人あたりの二酸化炭素排出量は約 7.6tCO₂であり、家庭・業務・運輸部門で、全国の値を上回っている状況です（図4）。

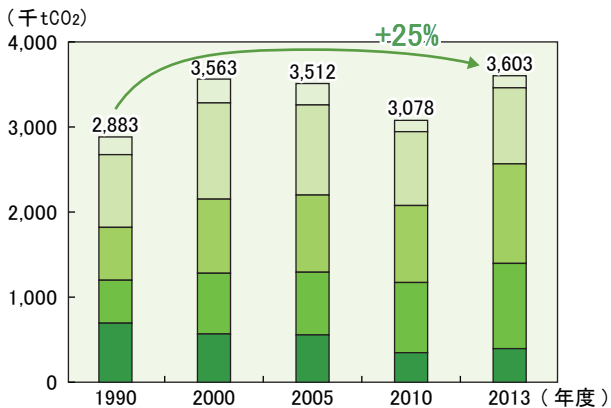


図3 温室効果ガス排出量の推移

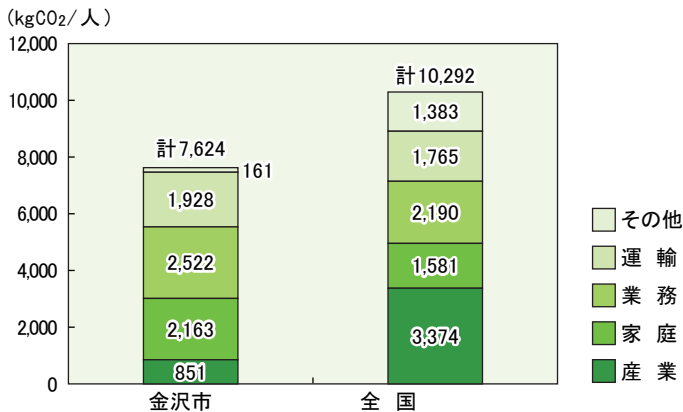


図4 人口一人あたりのCO₂排出量 (2013年度)

2016 年 3 月

金沢市低炭素都市づくり行動計画

～エコシティ金沢CO₂百万トン削減をめざして～

[改定版]

金沢市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）



『金沢市低炭素都市づくり行動計画』とは

金沢市の温室効果ガス排出量を計画的に削減するための行動計画であり、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を認識し責任を持って地球温暖化対策に取り組み、実効性のある施策を進めていくことで、本市の地域特性を活かした低炭素都市づくりをめざしていくものです。

今般、計画策定から5年が経過し、依然として増加している本市の家庭・業務部門のエネルギー消費や東日本大震災以降の我が国のエネルギー政策の変化等を踏まえ、改定を行いました。

◆金沢市環境局環境政策課温暖化対策室◆

〒920-8577 金沢市広坂1-1-1 TEL 076-220-2507

E-mail: kansei@city.kanazawa.lg.jp FAX 076-261-7755

ホームページ「金沢市環境政策」で検索

■基本理念

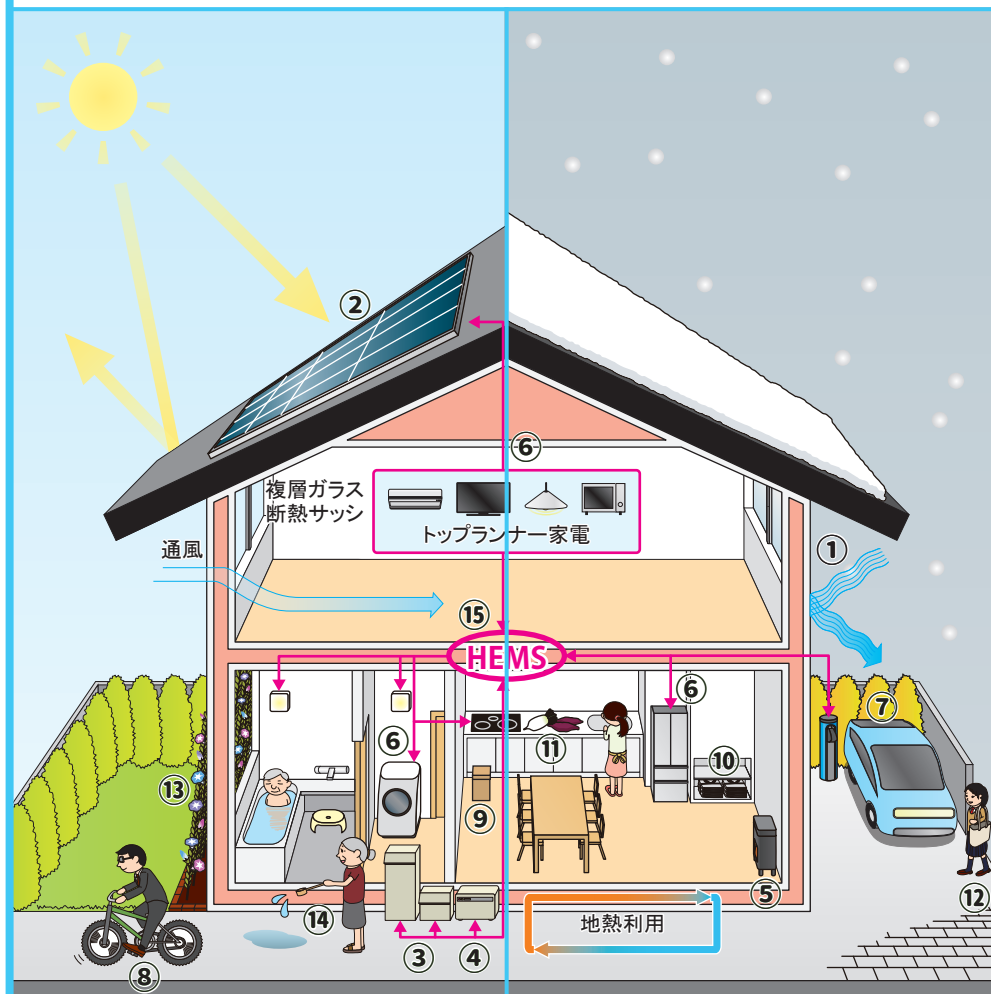
持続可能な低炭素社会の実現

本計画では、自然環境との調和を保ちつつ、省資源、省エネルギー型の社会システムの中で、だれもが快適で心豊かな暮らしを続けていくことができるような、持続可能な低炭素社会を実現することをめざします。

■めざすべき将来像

家庭では…

再生可能エネルギーの利用、省エネルギー機器の導入や日常生活における省エネルギー行動の実践に努めるなど、環境負荷が少ないライフスタイルに転換します。



●住宅・エネルギー機器の選び方

- ①省エネ住宅（断熱構造等省エネ基準適合）
- ②太陽光発電・太陽熱利用システム
- ③住宅用蓄電池
- ④高効率給湯器・家庭用燃料電池
- ⑤木質ペレットストーブ
- ⑥トップランナー家電
- ⑦エコカー

●暮らしの工夫

- ⑧自転車の利用
- ⑨家庭生ごみの堆肥化の実施
- ⑩紙ごみの減量化
- ⑪地元産食材の消費
- ⑫環境にやさしい買い物
- ⑬グリーンカーテン
- ⑭打ち水の実施
- ⑮スマートライフ（エネルギーをかしこく使う生活）

●基本方針1

再生可能エネルギーの利用を推進し、限りある資源を有効に活用します。

●基本方針2

日常生活や事業活動におけるエネルギーの適正な利用を推進し、環境負荷の少ないエコライフ、エコオフィスへの転換を図ります。

●基本方針3

公共交通の利用促進と快適に歩ける金沢らしいまちづくりの推進を図り、人と環境にやさしい交通環境を築きます。

●基本方針4

緑化の推進と森林の再生を図り、二酸化炭素の吸収源の確保と熱環境の改善に努めます。

●基本方針5

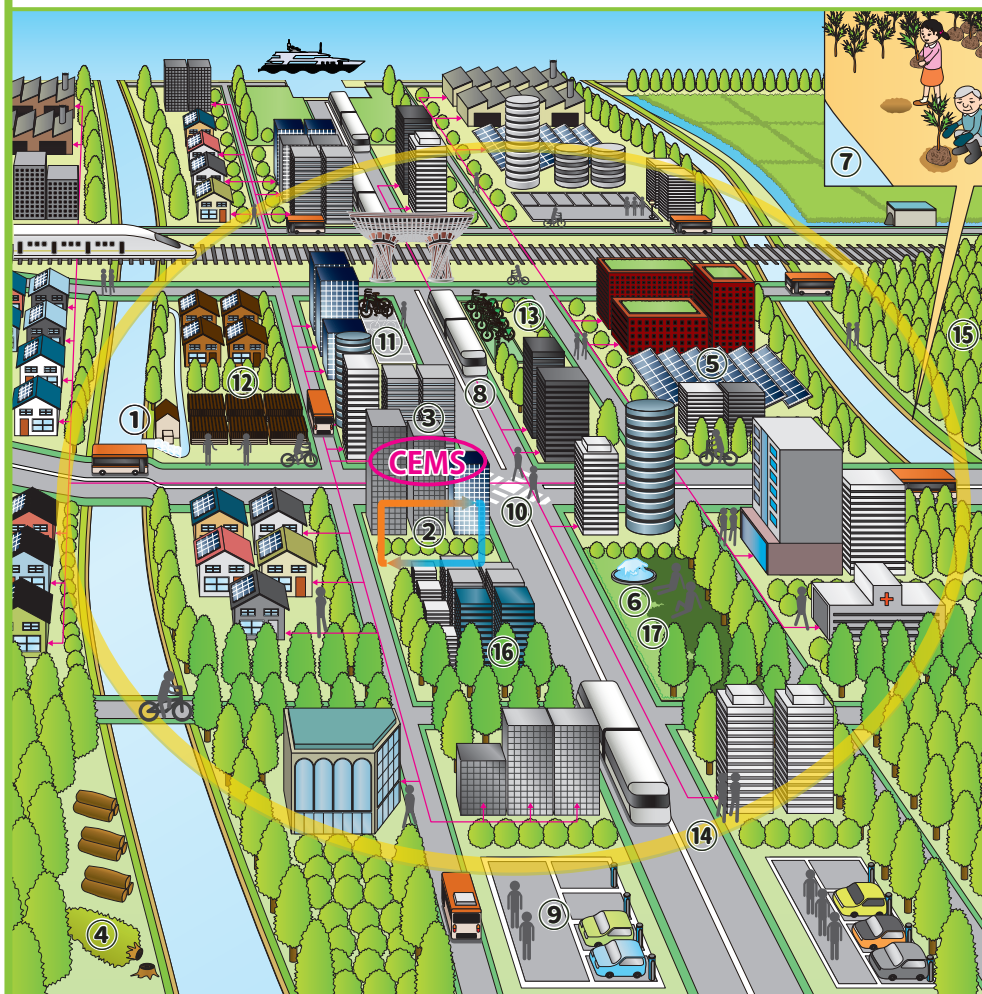
廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を進め、循環型社会を形成します。

○適応策【追加】

気候変動による影響を把握し、適切に対応するための施策を講じます。

地域では…

地域エネルギーマネジメントシステムの構築、公共交通の利用促進と快適に歩けるまちづくりの推進、緑化の推進などにより、環境負荷が少ない地域社会を実現します。



●再生可能エネルギーの利用

- ①用水での小水力発電
- ②地中熱利用
- ③地域エネルギーマネジメントシステム
- ④森林の整備（金沢産材の木質バイオマス利用）
- ⑤メガソーラー

●環境負荷の少ない社会への転換

- ⑥クールシェア・ウォームシェアの場の創出
- ⑦大学や地域コミュニティとの連携による活動の実施

●交通とまちづくり

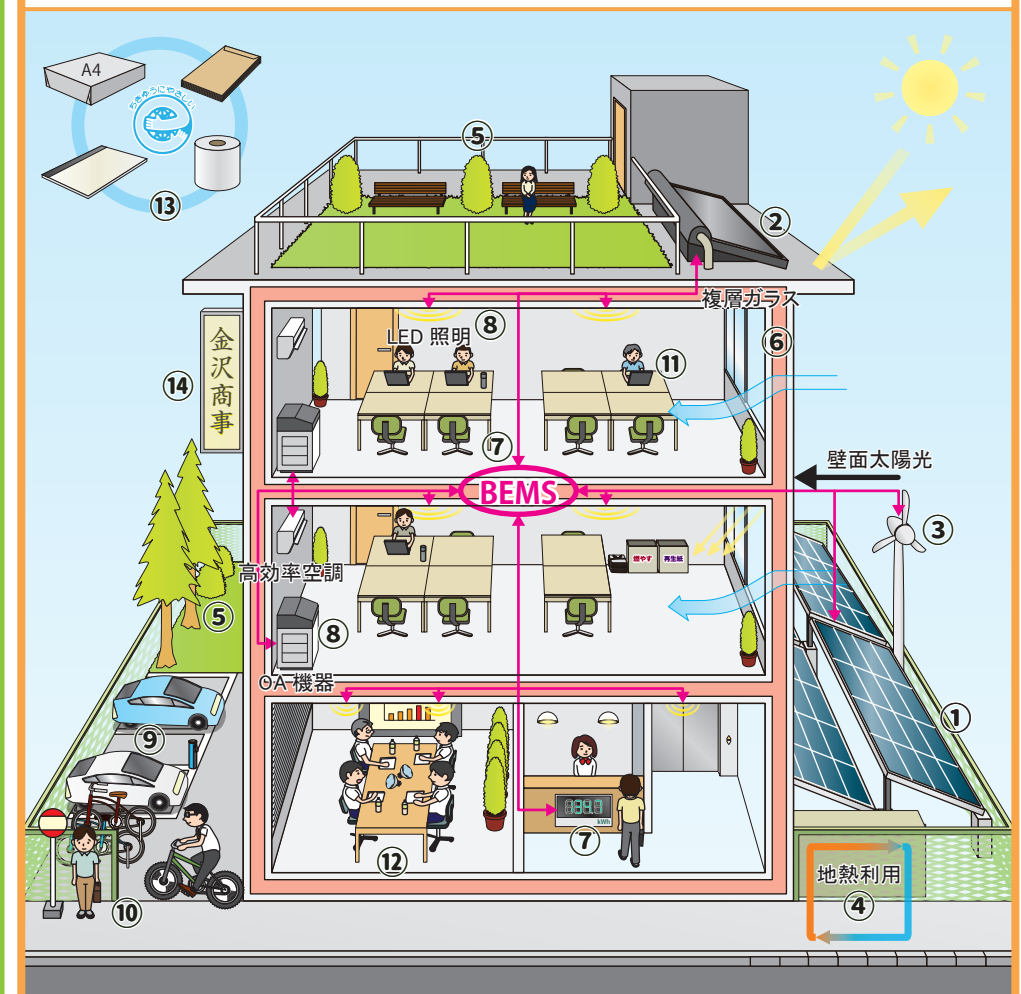
- ⑧新しい交通システム
- ⑨パーク・アンド・ライド
- ⑩歩けるまちづくり
- ⑪自転車利用環境の整備
- ⑫まちなかでの定住促進
- ⑬公共レンタサイクル「まちなり」の利用促進
- ⑭集約型都市の形成

●緑化の推進

- ⑮斜面緑地の整備
- ⑯緑のネットワークの形成
- ⑰まちなかの緑化推進

工場・事業所では…

省エネルギー機器の導入や省エネルギー行動の実践の他、低炭素社会に向けた技術開発にも取り組み、環境負荷が少ない事業活動を推進します。



●建物・エネルギー機器の選び方

- ①太陽光発電（地上設置及び壁面など）
- ②太陽熱利用システム
- ③小型風力発電
- ④地中熱利用
- ⑤屋上緑化・敷地内緑化
- ⑥省エネ建物
- ⑦エネルギーマネジメントシステム（使用効率化、見える化）
- ⑧LED照明・省エネ機器（OA機器等）
- ⑨エコカー
- ⑩高性能建材・構造（通風確保・採光）

●オフィスでの工夫

- ⑪ノーマイカーデーの実施
- ⑫環境配慮型製品の開発
- ⑬環境にやさしい商品の購入
- ⑭ライトダウンの実施